

今回のテーマは・・・『火災保険大幅見直し?』です。

火災保険料が来秋をめどに大きく変わる予定です。

火災保険の保険料区分を大きく変えるのは約40年ぶり。外壁に新しい素材を使った住宅などが登場し、損保各社が本来より高い保険料を受け取る事例が多発、再発防止のための見直しです。

『木造は一部値上げ?』

今まで住宅の構造に合わせて5つに分けている保険料の基準が3つに集約される予定です。保険料が最も上がるのは外壁にALCを使った木造住宅。現在は通常の木造住宅より耐火性に優れているとして安い区分に入っていますが、見直し後は『非耐火』に集約されるため。約1.8倍に値上がりの見通しです。

通常の木造住宅は横ばいか、わずかな値上がりとなりそうです。

住宅の種類	保険料	新区分
通常の木造住宅	→ やや値上げ	非耐火
外壁ALCの木造住宅	↗ 大幅値上げ	非耐火
外壁耐火構造の木造住宅	↘ 値下げ予定	耐火
鉄筋コンクリート住宅	↗ 値上げ可能性	耐火
マンション	→ 横ばい	マンション

『住宅火災の原因と発生は?』

住宅火災で8割以上が生活のため後から持ち込まれた可燃物から出火とされていて、出火するかどうかは建物の防火性能の高さに直接関係しないと考えられています。住宅の火災場所と原因は

・ 最も多い出火場所はリビング。

タバコ、ストーブ、ローソクなどは特に火災原因の上位です。

・ 食事の準備時間帯の火災多発場所はキッチン

ガスコンロからの引火、天ぷら油の加熱、古くなった電気コードなど

・ 寝室の布団からの出火は死亡事故が多い

寝たばこ、ストーブをつけたまま就寝、など

火事のほとんどが日常生活のなかの心掛けで防止可能なものです。寒くなって火を使う機会も多くなると火災も多く発生します。特に12月から4月は夏の1.3倍から1.5倍の火災が発生しています。

iestoryの家はオール漆喰の『燃えない家』なのでずっと安心。何と言っても『漆喰』は不燃素材で燃えません。漆喰は火に強く空気もきれいにしてくれる素晴らしい地球からの贈り物です